

事業者名	宮崎県								
機器名	振動試験機用振動制御装置								
機器写真									
特徴・用途	模擬的な振動を発生することにより、製品の品質評価や、共振点の探索などに利用される。								
設置場所	宮崎県工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	14		6	6	20		10	22
	H 25年2月	6		3	3	3		0	6
	H 25年3月	6		3	3	3		0	6
	H 25年4月	8		3	3	6		10	16
	H 25年5月	10		5	5	14		0	10
	H 25年6月	6		3	3	18		0	6
	H 25年7月	2		1	1	2		0	2
	H 25年8月	10		5	5	13		0	10
	H 25年9月	8		3	3	7		10	16
	H 25年10月	8		4	3	9		20	27
	H 25年11月	8		3	3	5		10	16
H 25年12月	6		2	2	10		10	14	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・再現できる振動条件の幅が広がったことと、操作が簡単になったことで、非常に利用しやすい環境になった。 ・試験データの出力が容易になったので、後々の解析に役立っている。 								
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の輸送試験としての利用が多く、当該機器での試験を元に、製品の改善などを行っている企業が多数ある。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-100koho.pdf								

事業者名	宮崎県									
機器名	ソルトバス									
機器写真										
特徴・用途	300℃以上の高温で精密に温度制御が可能であり、様々な材料の熱処理や廃棄物の分解処理に使用する。									
設置場所	宮崎県工業技術センター									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	H 25年1月									0
	H 25年2月	2							2	2
	H 25年3月	3							3	3
	H 25年4月	2							2	2
	H 25年5月	1							1	1
	H 25年6月	2							2	2
	H 25年7月	3							3	3
	H 25年8月	2							2	2
	H 25年9月	2							2	2
	H 25年10月	2							2	2
	H 25年11月	1							1	1
H 25年12月	2							2	2	
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・有機系廃棄物処理を目的に、当該装置を用いて、亜臨界状態で焼酎粕中の有機物の加水分解反応を行わせ、有機物の低分子化を行うことにより、後工程のメタン発酵法で効率の良い有機物分解を行っている。また、試験段階ではあるが、良好な結果が認められれば、関係企業と共同で開発を行うことを検討する。 ・焼酎粕に含まれる酵母菌を上記の亜臨界水処理により菌体破壊を行うことで、菌体中の有用成分の回収の検討を行っている。 									
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-100koho.pdf									

事業者名	宮崎県								
機器名	システム金属顕微鏡								
機器写真									
特徴・用途	高倍率の観察や3D画像処理が可能。金属をはじめとする各種工業材料の部品表面の異物や破損観察など、品質管理に利用される。								
設置場所	宮崎県工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 25年1月	1		1					1
	H 25年2月	9		1	2	3		6	9
	H 25年3月	7		2	2	3		3	7
	H 25年4月	3		1	1	1		1	3
	H 25年5月	9		2	3	4		5	10
	H 25年6月	7		2	5	10		4	11
	H 25年7月	3		2				1	3
	H 25年8月	5						6	6
	H 25年9月	2		1	1	1			2
	H 25年10月	4		1				4	5
	H 25年11月	9				2	3		8
H 25年12月	7		2	1	1		4	7	
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元観察では錯覚しがちな材料表面の微小凹凸を三次元観察することにより、凹又は凸を判別することができた。 ・明視野、暗視野、微分干渉又は簡易偏光観察を切り替えて使用することが可能なため、顕微鏡を変えることなく最適な観察方法を迅速に選択することができた。観察方法に迷う材料等に有効である。 ・2点間距離や凹部の深さなど、二次元及び三次元での各種測定が可能であり、材料表面の傷の程度が迅速に把握できた。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-100koho.pdf								